自動生成された代替テキスト: ＿ン戸
トL-\fl戸1
_1_,____＿」
叱与
ンノ
新川の匠だからできる、
ふるさとで一番の住まいづくり
世界に誇る日本のものづくり。
その基本は、良い設計、良い材料、良い作り手です。
幸せを建てる家づくりも、かなめは同じ。
それぞれの分野を担う3氏が、ふるさと新川の住文化を語ります。
□日
□会
寺1・
場：
□出席者
2011。年7月9日
YKK5oビル
YKK株式会社代表取締役会長cEO
YKK八P株式会社代表取締役会長cEO占田忠裕
一般社団法人富山県建築組今連ムn会会長丸田和重
公益社団法人富山県建築士会新川支部
黒部市建築士会会長
住まいづくりは、
その土地の気候風土に合わせて
平野■本日は、古田会長、丸田会長をお招きし一』、
ふるさと新川の住まいづくりのこれからについて、
ものづくりや建築に関わるお立場から、ご意見や
ご提言をいただきたいと思います。よろしくお願
いいたしま十。
告田■僕は、平野さんを若い頃から存じ上げてい
ますが、昔から「地元の木を使って、地元の気候風
支部長平野明
士に合った家を建てる」を持論とされていますね。
平野■はい。私たち建築士会は、設計者や現場監督
などの一級・一・級・木造建築士の集まりですが、そ
の上地ならではの素材や手法を守り、文化的な価
値観も大事にしながら家づくりを十るように心が
けています。
丸田会長の連合会ではいかがですか。
丸田■こちらは、大工職人を土に、さまざまな建築
関連業種の会員で構成されていますけれど、やは
り、古くから受け継いできた知識や技を活かした
日睦自動生成された代替テキスト: いという思いは同じですね。
風を通せば百年もつ
木の住まい
平野■由緒ある神社やお寺を見れば分かるように、
地元の木を使った、風通しのいい建物は長持ちし
ます。
「全国一律のものにはない『ローカルの良さ』、
そして「技術』と「技能』を大切に」
古旧忠裕（よしだただひろ）
■化陸新幹線開業に合わせて、YKKグループの本社
機能の一部を黒部市に移転Lたほか、『バッシブタウ
ン黒部そデル一のまちづくりを進める。
ただ、住まいとして考えると、風が通る家は冬が
寒いのです。壁、縁の下’屋根裏から風を通して空
気を循環させながら、しかも断熱性にも優れてい
る。それらを両立させて、快適な住まいとしてまと
めるには、技術的なしかけが必要になります・
丸川■そのあたりを熟知した職人が手がけないと、
たとえば断熱材さえ人れればいいとむやみに工事
した結果、かえって家を傷めてしまうこともあり
ますからね。軒軒状況が一挙フ現場に対応する
のは技術がいるので、職人でなければできない仕
事の一つと言えます・
平野■YKKさんでは一バッシブタウン黒部モデ
ル」という、黒部の白然ェネルギーを活用して、電
力や化石燃料などのェネルギー消費を抑えた「主
ちづくり・住まいづくり」を提案するプロジェクト
を進めていらっしやいますね・
告田■そうで十。船でいうなら、モーターやェンジ
ンで走るのではなく、風を受けて走る帆船のイメ
ージで十・
とても暑い、とても寒い時期にはエアコンが必
要だとしても、それ以外の季節は白然の風を通せ
ばかなりのェネルギーをカタトできるのではない
か、というのがパッシプの発想です・
そうなると、窓の開け閉めが重要になります。窓
というのは意外に学術的な研究がされてこなかっ
た分野で、当社では「窓研究所」を立ち上げて窓学
を勉強しているのですが、r奥さんや子どもさんで
も、簡単に楽しく開け閉めできる窓を作れJと号令
をかけているところです（笑）。
「黒部モデル」では、冷暖房や給湯など全体で六
割のェネルギーをカゾトするように進めています
が、そうした数値は現在はコンビュークですべて
計算できるんですね。
どんな材料でどうデザインしたら、室内の風通
しや温度がどうなる等、具体的にシミュレーショ
ンすることは、これからの戸建て住宅でも、お客様
にアビールする有効な手段になると思います。
「断熱改修」は、
住む人のいのちを守る
平野■高齢のお客様からよくlulく困りごとに「家
が寒い」というのがありまして、一断熱改修」も、
Al、力を人れているものの一つです。
外壁をリフオームする際、眼材を張り替えろ前
に高性能の断熱材を入れるのですが、かなり効果
があります。
丸田■断熱材や建材で工夫すれば、中古住宅でも
ずいぶん居住性が良くなりますよね。
吉田■これはもっと広く知られていい事実だと思
うのですが、断熱改修は、ヒートショツク（温かい
浴室と寒い脱衣所など、住まいの中の温度差が大
きいために起こる健康被害）対策に一番効果があ
るそうで十・自動生成された代替テキスト: 医学部の先生がおっしやるには、断熱性を高め
るリ7オームの最大のメリットは、ェネルギーの
節約以上に、住む人の健康です、と・
平野■たしかに、断熱改修をしたお客様は－-，ニんな
にあったかくなるんですねJと大変喜ばれるので
すが、私たちはrそうでしよう。良かったですね」
で済ませてしまう（笑）。これは、もっとPRしな
ければいけませんね。
丸巨■近年、住宅の耐震性がニュースになってい
ることから、「うちは大丈夫だろうかJと心配され
るお宅も多いで十。
そんなとき、たまたまご近所の家が耐震補強を
すれば、rでは、うちも」となるのですが、県民性
なのか、たしかに私たち職人サイドからPRする
のは不得意ですね。
吉田■日本の職人さんはそういうものかもしれま
せんが、富山はとりわけ謙虚で十よね（笑）。
でも、お客様に有益な情報は、どんどんアピール
十るべきですよ・実際に見学したり体験できるプ
ロジェクトを、業界の皆さんで考えてみてもいい
のではないですか。
それと、PRで影要力が大きいのはクチコミで
すね。ご近所や知入宅などでりフオームの実例を
見た人の本音の感想は、ゆっくりとですがじわじ
わと、大きくて強い広がりになります。
リフオームしながら長く使う
ストック型社会の住まい
平野■日本の人口や世帯数が減少する将来、住宅
業界も新築着工の増加は見込みにくく、リフオー
ムが見直きれると言われていますね）
上口円■たまたま昨年から、一般社団法人住宅リプ
オーム推進協議会のム太長を務めているのですが、
まさにそれを議論しているとニろです。
ただ、行政から関連企業まで一L五団体ものメ
ンバーがいて、八二○万戸の空き家を含めて現在
六千万戸ある住宅のストックをどうするかという
日本全体のニとを論じるので、話が大きすぎるの
です。
それではおもしろくないと田心い・足元の事例と
して、僕が少し関わっているrTOGAアジア・ア
ーツ・センター支援委員会」の南砺市利賀村での活
動や、一黒部そデルJのことなど、富山県の建築の
話題もアピールLているところです・
丸田■これまではリフオームといえば、バス・トイ
レやキッチンといった水回りの設備系の取り替え
が主でしたが。
吉円■これからは、断熱改修や耐震改修など建材
系の割合が大きくなりそうです。ちようどお・一人
が着目されている分野ですね。
口ー力ルであることが
強みになる
平野■Gプオームは、大きなビジネスチャンスで
すが、当然ライバルも多い。業界全体が盛んに研究
しているなか、先ほどのI,Rの課題も含めて、それ
に負けないくらい私たちもがんばらなくてはなり
ません。
告田■全国展開する大手は、消費者が興味を持っ
ような広告戦略が上手いですからね。
でも、僕が見る限り、全国一律の商品が本当にそ
の上地に合っているかどうかはわからない。むし
ろ、（新川にふさわしいデザインや素材にしてほし
い」と注文されたら、逆に不得手なのではないでし
ようか。
丸田■＂て・っしたニだわりのある施主様のケースや、
地域によってはまちなみの蓋観を保っ意味から、
伝統的な外観デザインが求められる場合もありま
十ね。
沓田■それら、ローカルであることが逆に強みに
なる市場に、地場の建築業界の出番があるように
思います。
もちろんそのためには、知識、技術、技能を高め
て、自分たちはこれができると見せなければいけ
ないし、ニーズに合わせたデザインや仕様を提案
できなければいけない。
先ほどから出ているェネルギーの問題、健康の自動生成された代替テキスト: 問題、そして、ふるさと新川の建築文化、ライフス
タイルに対して、皆さんなりの（軸」がちやんとあ
れば、可能性は大きく広がる、とハツパをかけてお
きま十ね（笑）。
「一軒se軒ちがう現場への応用力こそ、
べテラン大工職人の腕の見せどころ」
丸田和重（主るたかずしげ）
■九田建築代表。連合会会長として、伝統エ法を次
代に伝える「担い手育成事業］にも力を注ぐ。
ものづくりは、
「技術」と「技能」
のコラボレーション
告円■当社のことを少しお話ししますと、ものづ
くりの会社として、肝心なのは［技術」と一技能」
の職人だと常々考えています。
おおもとのコンセプトやデザイン、システムを
設計する「技術者Jと、それを何万点の部品として
「ふるさとを熟知した匠が建てる
住まいのすばらしさを、一人でも多くの施主様へ』
平野明（ひらのあきら）
■平野工務店株式会社代表取締役
公益社団法人富山県建築上会新川支部支部長
黒部市建築士会会長
実際に細部まで造りこんでいく「技能者」で十ね（
ものづくりは、その組みへ口わせだと思うのです。
組み合わせがうまくいくと、技能者も生きるし、
技術者も生きる。彼らが中心でいてくれれば、会社
がどれだけ大きくなっても大丈夫と思っています・
諸外国の例を見ても、成功しているとニろは、そ
の連携がうまく行っています。
平野■職人に理解のある社会は理想的ですね。
日本では、団塊の世代の大策リタイアという節
日を迎えて、後継者育成や技術の伝承などの課題
も大きいです。
土口田■若い入がその仕事に興味を持っか持たない
かは、結局、人生を賭ける価値のある、やりがいの
ある仕事かどうかではないでしようか。
これからの日本のものづくりは、分野は何であ
れ、どこよりも質がいいのを売りにするべきだと
思うので十。たとえ小さくても、とんがった何かを
つくる職人は、日本中、世界中から求められますよ）
職業としての蛙力を若い世代に感じてもらうた
めにも、ものづくりの意識を問い直し、必要な技術、
技能を徹底的に追求していく姿勢を、私たち経営
者も持ち続けたいでナね「
時代は変わる、
住まいづくりも変わらなければ
土口田■僕は富山のことを一こんないいとニろ、ない自動生成された代替テキスト: じやないー・」と思っているのですが、かつては「な
ーん、何もないがいちや」と謙遜する人が大半でし
たよね。
ところが、北陸新幹線が開業して、国内外から大
勢のお客様が来るようになると、あんなもの、こん
なものが喜ばれるのだと、今まで見過ごしていた
地元の良さに気づくようになりました。
ものづくりも同じで、今まで静かに潜んでいた
富山県が、今後、ビジネスチャンスに沸き立つよう
になると思います・そのとき強みの一つになるの
は、繰り返しになりますが「ローカルであること」
です・他考がすぐにはまねできない、地元でなけれ
ばできないものづくりのニーズをいち早く見つけ
て、有効に活用きれるよう期待します？
平野■そのためには、工務店や職入どうしのネッ
トワークがもっと必要になりますね。情報やノウ
ハウを共有して、ともに成長していく業界であり
たいです。
古田■そうですね。僕から・点、アドバイスさせて
もらうなら、業界の共存共栄を図りながらも、それ
ぞれが「地域一番Jを日指してください、というこ
とです・
内輪の話になりますが、当社が十数年前に「窓」
を販売十ると決めたとき、建材の販売店からr私た
ちと競合するのかJと問われ主した。僕は、「どう
ぞ、当社以外で良いと思う建材も扱ってください。
そして『日本・の建材を売る地域・番の店』をH指
してください。当社はその競争に負けないように、
・番いい建材を作り提供していきますが、流通や
ものの売れ方が大きく変化している今、当社自身
も窓を販売していきます）と説明しました。
そしてどうなったかと言うと、各社が窓を作る
ようになり、当社は窓メーカーのバイオニアと呼
ばれています。創業何百年という老舗も多い建具
業界で、バイオニアと呼ばれるのは大変な名誉で
十。
手前味噌な例になりましたが、なかなか変わら
ないように見える業界の意識も、きっかけがあれ
ば大きく変わりま十。そして‘その中で生き残るに
は、それぞれがナンバーワンになる覚悟と挑戦が
必要だということです「
丸円■私も黒部が地・九なので、平野さんとはよき
仲間、よきライバルとしてがんばります・
土口田■平野工務店さんには、自宅も含めて、さまざ
まな1事でお世話になってきましたが、ふるさと
で、信頼できる腕のいい職人さんが大勢活躍され
ているのはとても心強いことです。おふたかたが、
さらなるリーダーシップを発揮されて、新川そし
て富山の住まいづくりの未来をひらかれることを
期待しています。
平野■ニれからも精進してまいりたいと思います・
本日はありがとうございました。